

令和6年度

白馬村の決算状況

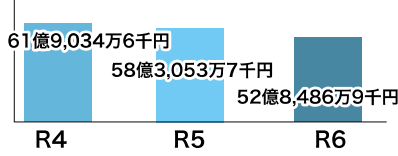
一般会計の概要

歳入 78億9,825万6千円
歳出 77億2,699万8千円

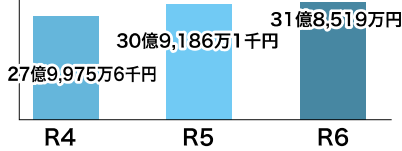
財政健全化の方針を堅持した結果、前年度に引き続き財政調整基金(家計で言うところの貯金)の取崩しをせず、減債基金に8,000万円、義務教育施設整備基金に1億円、地域情報化施設基金に2,700万円の積み立てを行っていました。なお、全ての基金を合わせた年度末残高は、平成から令和を通じて過去最高額となっています。

また、健全財政の堅持と公債費抑制のため、繰上償還を行ったことと、引き続き新規発行債(新しい借り入れ)を元金償還額(借金の返済金)以下とすることにより、地方債現在高も前年度比で9.4%の減となりました。

地方債現在高



基金残高



歳入

村税内訳

諸収入等 4億5,371万2千円
延滞金や施設の使用料など

地方債 3億4,485万5千円
国や金融機関から借り入れるもの

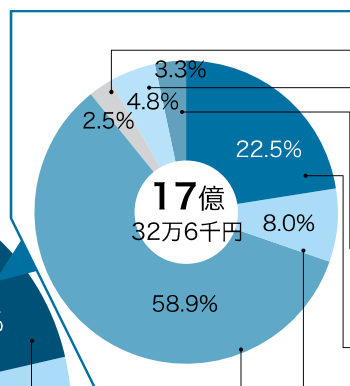
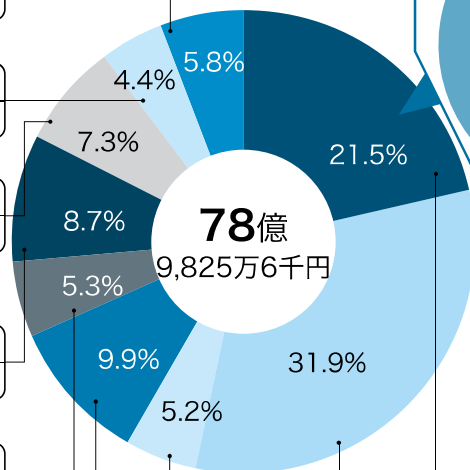
繰入金 5億7,666万7千円
基金の取り崩しなどにより繰入れたもの

寄附金 6億8,906万2千円
ふるさと納税などによる寄附金

県支出金 4億2,000万1千円
県が使い道を限定して交付するもの

国庫支出金 7億8,649万5千円
国が使い道を限定して交付するもの

譲与税/各種交付金 4億923万円
国や県が徴収した税金を一定の基準に基づきを配分・交付されたもの



軽自動車税	4,195万8千円
たばこ税	8,098万3千円
入湯税	5,559万6千円
個人村民税	3億8,295万1千円
法人村民税	1億3,641万5千円
固定資産税	10億242万3千円

村税 17億32万6千円
村民税、固定資産税など

地方交付税 25億1,790万8千円
国が自治体の財源不足を補てんするもの



歳入の概要

歳入は前年度より8億2,666万2千円の増加となりました。普通交付税は8,095万4千円の増となり、特別交付税も2億3,821万1千円の増となりました。特別交付税は市町村の特殊事情に対して交付されるもので、令和6年度は10年ぶりの大雪により、除雪経費の算定額が前年度に比べて大幅に増えました。村税はいずれの税目も前年を上回る税収となり、特に固定資産税は土地の評価替えに伴う増収や評価額の大きな非木造の家の建設等により、10億円をこえる収入となりました。また、企業版を含むふるさと白馬村を応援する寄附金は過去最高の寄附額を達成しました。



決算状況の詳細はこちらから確認できます。



歳出

6億7,597万6千円

教育費

学校教育や生涯学習、文化財保護など

【主な事業】

校内教育支援室などの学校環境整備やスクールバスの運行など

2億3,002万5千円

消防費

消防や防災対策など

11億8,434万7千円

土木費

道路の維持管理、除雪、村営住宅の管理など

【主な事業】

村道改良や大出公園の維持・管理など

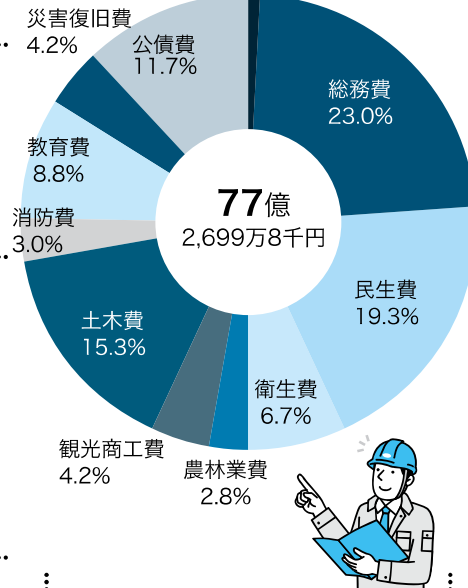
3億2,504万4千円

災害復旧費

災害復旧の費用



議会費
1.0%



観光商工費
4.2%

農林業費
2.8%



2億1,855万2千円

農林業費

農地や山林、鳥獣対策や地籍調査など

【主な事業】

被害木(ナラ枯れ)対策や、農業機械等導入支援など

9億617万円

公債費

国や金融機関から借りた地方債の返済

7,523万6千円

議会費

議会運営に係る費用

17億7,765万円

総務費

財産管理や地球温暖化対策、村税賦課徴収、スポーツ施設管理など

【主な事業】

DXの推進(文書管理・電子決裁・書かせない窓口などのシステム導入)やスノーハーブ改修など

14億9,075万3千円

民生費

高齢者・障がい者、福祉や子育て支援など

【主な事業】

ふれあいセンターの改修(エアコン工事)やしろま保育園の運営など
※保育園の運営経費には電源立地地域対策交付金を活用しています。

5億2,063万5千円

衛生費

保健・医療や環境対策、ごみ処理など

【主な事業】

各種健診・新型コロナワクチンや乳幼児の予防接種を実施、ごみ処理に係る負担金など

【性質別歳出】

(単位：千円・%)

	令和5年度	令和6年度		
	決算額	決算額	構成比	増減率
1 人件費	1,026,796	1,067,436	13.8	4.0
2 物件費	1,159,312	1,362,528	17.6	17.5
3 維持補修費	351,203	666,696	8.6	89.8
4 扶助費	426,711	487,748	6.3	14.3
5 補助費	1,645,298	1,574,860	20.4	△4.3
6 公債費	747,997	906,170	11.7	21.1
7 積立金	584,874	609,080	7.9	4.1
8 投資・出資・貸付金	15,000	15,000	0.2	0.0
9 繰出金	380,120	389,811	5.1	2.5
10 普通建設事業費	557,022	322,625	4.2	△42.1
11 災害復旧事業費	21,631	325,044	4.2	1402.7
合計	6,915,964	7,726,998	100.0	11.7

歳出の概要

歳出は前年度より8億1,103万4千円の増加となりました。DXの推進として文書管理・電子決裁や書かせない窓口などのシステムを導入したこと、福祉交通のふれ愛号と観光交通のA-デマンドタクシーとしてそれぞれで運行していたものを統合し、公共交通「ふれA-1号」として年間運行となったこと、10年ぶりの大雪による除雪委託料の増、神城教員住宅解体や教育支援室など学校環境整備工事費等の増や令和5年度に発生した黒豆沢土砂災害や豪雨災害による災害復旧工事費等が増額の要因です。

お問合せ 白馬村役場 総務課 電話:0261-72-7002



令和6年度決算に基づく白馬村の健全化 判断比率及び資金不足比率の公表

【健全化判断比率】

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
白馬村 (早期健全化基準) (財政再生基準)	— (15.0) (20.0)	— (20.0) (30.0)	16.2 (25.0) (35.0)	— (350.0) (—)

【資金不足比率】

水道事業会計	—
下水道事業会計	—

※企業会計などの資金不足は該当がありませんでした。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和6年度決算数値から算出した財政健全化判断比率をお知らせします。公表する指数のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率、連結実質公債費比率、資金不足比率については関係する各会計での赤字、資金不足比率はありませんので、公表する数値はありませんでした。

実質公債費比率は16.2と前年と比べ0.6ポイント増加しました。指数は前年度の数値を加えて3か年の平均値で算定します。これは、元利償還金が増加していることなどによるものです。

将来負担比率は「(数値なし)」となり、前年度と比較して4.7ポイント改善しました。これは、地方債現在高や債務負担行為の支出予定額などから、基金残高などを差し引くことで計算します。令和6年度は、し尿等下水道投入施設整備事業などの債務負担行為の支出予定額の額は増えましたが、地方債は繰上償還や元金償還額以上の新規発行債を抑制しており、また、基金残高も増えたことが要因です。

白馬村の健全化判断比率は他町村と比較して高めですが、財政的には問題のない範囲の数値となっています。しかし実質公債費比率は、今後も神城断層地震以降の大型事業債の償還が続くため、引き続き健全財政を堅持するよう努めてまいります。

お問合せ 白馬村役場 総務課 電話:0261-72-7002

公営企業の決算状況

企業会計は、水道料金や下水道使用料などの事業収益で運営される会計です。白馬村では、水道事業、下水道事業(公共下水道事業・農業集落排水事業)がこれにあたります。※農業集落排水事業は令和6年度から地方公営企業法適用となり、下水道事業会計の1セグメントとして会計処理されています。

令和6年度の決算においては、水道事業・下水道事業ともに営業収益は増加していますが、電力価格高騰等の影響により営業費用も増加しており、下水道事業会計の当年度純利益は令和5年度を下回りました。一方、水道事業会計は、令和7年1月の料金改定や観光需要の増加等により、当年度純利益は令和5年度の純利益を7.9%上回りました。

会計名	総収益	総費用	純利益
水道事業会計	3億 5,254万円	2億 6,928万円	8,327万円 (対前年比 593万円増)
下水道事業会計	4億 8,746万円	4億 6,134万円	2,612万円 (対前年比 440万円減)
内訳			
公共下水道	4億 8,173万円	4億 5,667万円	2,506万円
農業集落排水	573万円	467万円	107万円



配水管布設替工事(めいてつ)



倉下ポンプ室電動弁更新工事

お問合せ 白馬村役場 上下水道課 電話:0261-85-0714

◆国民健康保険事業勘定特別会計

歳入:10億 6,934万 5千円

歳出:10億 6,652万 8千円

歳入・歳出とも前年度に対し減額となりました。歳出減の主な要因は、保険給付費の減少によるものです。保険給付とは、医療費の一部を支払うだけで医療を受けられることをいいます。そのほか、高額療養費や出産育児一時金等の支払制度があります。村の特定健診に代えて人間ドック等を受診する方には受診費用の一部助成を実施しています。病気の早期発見・早期受診、重症化予防に引き続きご協力をお願いします。

◆後期高齢者医療特別会計

歳入:1億 3,693万 9千円

歳出:1億 3,691万 9千円

75歳以上及び65歳から74歳で一定程度の障がい認定を受けた方が加入する医療制度の特別会計です。主な歳出は、長野県後期高齢者医療広域連合負担金です。

令和6年度の白馬村1人当たりの医療費は、807,285円で昨年度より90,802円の増額となりました。

お問合せ 白馬村役場 住民課 電話:0261-85-0715

特別会計の決算状況

